

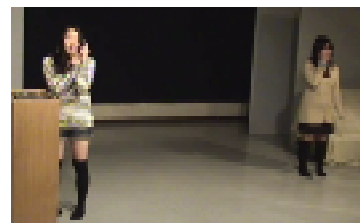
学内公演・文化部発表会への

ご来場ありがとうございました!



1月12日(木)・15日(日)に、昨年度から開始した学内公演が、3月24日(土)には、瑞浪市の瑞浪文化センターにて、文化部発表会が行われました。学内公演は、教室を暗幕で囲って小劇場にして実施するもの、文化部発表会はこの1年間の活動のまとめとなるものです。1年生、2年生それぞれの成長した姿を見ていただけたと思います。この春の取り組みを振り返ってみます。

秋のページに続き、文化部発表会の稿は部員によるものです。



第2回学内公演

昨年は戦争をテーマにした作品でしたが、今年度はネットから探した、楽静作「I F・・・」。ホストクラブを舞台とした、妄想爆発のコメディです。男性役、ロリータファッションのおタク、暴力的な女性、ツンデレ女子高生など、それぞれがはじける必要がある役ばかりの、テンション芝居に挑戦することとなりました。



受け継いでいく使命・創造する喜び

昨年の顧問の長谷川先生が来てくださったので照明のセッティングの方法について習い、12月の東濃地区合同練習会の際に恵那高校からライトと調光卓を借り受け、引退した3年生に音響設備について教えてもらって、昨年度の遺産を受け継ぎました。

同時に、毎年使用できるように、窓や戸のサイズに合わせた段ボールの遮光板を総出で作成し、壁を立て、ソファを借り受けて、完全暗転する小劇場を苦勞の末に完成させました。



満員御礼の会場 感謝感謝！

公演は、木曜日の放課後に一度、日曜日の午前午後を使って二度、計三回公演を敢行しました。大会ではありませんので、宣伝からお出迎えとお見送り、感想用紙の配布と回収に至るまで全て自分たちで実施しました。

座布団もたくさん用意して、よほど皆さんに座っていただける予定でしたが、大勢の方に立ち見をしていただかなくてはならないほどの大盛況で、部員一同感激しました。

演じ手と観客がとても近い会場なので、客いじりなども交えつつ、元気に演じきりました。木曜日には顔見知りの友人や先生に観てもらって大いに笑いを取り、日曜日には保護者や他校の演劇部員・顧問の方などがわざわざ来てくださって、温かい拍手をいただきました。毎年のことながら、激しい練習の後にみんなに来てくれる野球部諸君はじめ、各運動部の皆さんにも感謝です。



すぐに次の準備。やっと決まったのは・・・

文化部発表会は、なかなか「これだ！」という脚本が見つからず、脚本選びにはとても苦労しました。そして、やっと決まったのが、加藤翔大作「地球ロンド」。これから本番まで、悪戦苦闘の日々が続きます。現在は大学生になってみえる作者に電話をして、自分たちで上演許可ももらいました。



セリフ、キャラの確定

キャラがなかなかつかめず、セリフの口調などにも苦労しました。けれど、部員みんなで1人1人のキャラを確立させ、「このセリフはこう言えるんじゃない？」など、みんなで意見を出し合いました。

長いセリフのところも、細かくチェックをしました。この脚本のセリフで悩んだのは、「滑舌」でした。長いセリフということもあって、舌が回らず苦戦しました。初めの頃に比べ、キャラや感情の入れ方が確定し、そのおかげでセリフもスムーズになり、自然と滑舌もよくなっていきました。



異世界と現実世界の違い

この劇には、人間の世界と、アリンコ、月、犬が会話している世界が交互に出てきます。そのため、場面転換や、異世界と現実世界での話をどう関連付けていくかについて、とても悩みました。何度も何度も話し合い、人間、アリ、月、犬について、人物を位置づけました。

装置作りも並行して

文化部発表会は、音楽部・吹奏楽部と合同の上演になるため、反響板が降りている状態での芝居になります。これまでは Horizont なしで実施してきましたが、今回、ホールの方の好意で正面の反響板を上げて空の色を作れるようになりました。それに合わせて、調光できる街灯を作りました。また、10年前の先輩が作られたベンチを修正して効果的に使用し、プランターに生花を入れて、シンプルながら美しい舞台を作りました。



やっていくうちに・・・

何度も何度も通しや、稽古を繰り返していくうちに、どこが面白くないのか、そしてどこがダメなのかがわからなくなりました。けれど、OBの方に来ていただき、演出などをかけていただき、失いかけていた新鮮さを取り戻すことができました。



本番！

ついに本番がやってきました。リハーサルの時間が多くとれたため、照明や音響の確認がよくできました。そのおかげでスタッフは安心して操作できたと思います。スタッフの2人は初めて音響や照明を担当しましたが、初めてとは思えないぐらい、裏方として役者を支えてくれました。役者は、それぞれ不安な点もありましたが、本番では、その役として舞台上で堂々と演技することができました。

今までやったことのないような脚本、役でしたが、この「地球ロンド」を通して、1人1人が成長できたと思います。次の夏大会では、さらにレベルアップした劇にするため、努力していきます。



瑞浪高校演劇部は、一緒に劇を創る仲間を求めています！

この春に瑞浪高校に入学される皆さん、一緒に劇を創る楽しさを味わいませんか？ 舞台上で役を演じるキャスト、音響や照明を担当するスタッフ、どちらの希望者も歓迎します。是非一度、活動場所を覗いてください。

**次回の上演は、7月の東濃地区大会です。
ご来場をお待ちしています！**

